

資料

神戸市立中央図書館所蔵

『兵庫裁判所書翰集』(四・完)

目次

はじめに

凡例

資料 (巻末の英文標題を含む)

- (No. 1 ~ 70) [以上第六号]
- (No. 71 ~ 152) [以上第七号]
- (No. 153 ~ 223) [以上第八号]
- (No. 224 ~ 263) [以上本号]

224 Hughes 銃ヲ盗ムレル

岩村等

第四百二十四号

貴國人ヒュース氏雇入我國人和田清吉儀同氏所有之延鏡盜取且  
 本籍逃亡ニ罪ノ内重キ逃亡ノ科ニ依リ本日杖罪八十申付候就テ  
 ハ右品御引渡ニ及ヒ候条来ル廿六日午前第十時受取人差出シ候  
 様同氏江御達シ有之度此段申進候拜具

明治七年十月廿三日

兵庫裁判所

司法権少判事 上山惟清(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

## 225 Kirby 鏡并石炭油紛失一件(6)

第四百二十五号

貴國人キルヒー氏商會石炭紛失一件ニ付同氏江尋之儀有之候間  
來ル廿六日午前第十時当裁判所江出頭候様御取斗有之度此段及  
御掛合候拜具

明治七年十月廿四日

兵庫裁判所長

司法少判事

土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

## 226 日本人船頭荷揚拒否事件

第四百二十六号

昨二十三日第百五十六号附貴翰ヲ以我國人船頭共荷物陸揚不致  
儀ニ付云々御申越之趣承知致シ右浮船會社ノ者呼出相料候處貴  
國人キルビー氏ヨリ陸揚被相頼候節必用之船ハ外陸揚ニ遣ヒ切  
リ候ニ付相断リ候儀ニテ同商會江掛リ候詞訟事件ニ付陸揚不致  
儀ニハ毛頭無之旨申立候尤尚無差支至当ニ陸揚致シ候様申聞置

候依之此段及御答候拜具

明治七年十月廿四日

兵庫裁判所長

司法少判事

土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

## 227 Herhausen 対成尾屋安兵衛払入金催促一件(1)

第四百廿八号

本月廿日附第百五拾三号貴翰ヲ以貴國人ヘルホウソン氏ノ我國  
人成尾屋安兵衛江係ル拂入金催促之訴右事件ハ司法省裁判所ニ  
於テ本年三月中身代限所分ニ及ヒ安兵衛所有物賣捌方当方江掛  
合越其手数中原告ヘルホウソン氏ノ当分身代限り之所分延引相  
成度旨申立ハ付其段司法省裁判所江掛合ハ尠貴國公使ヲ經由シ  
テ外務省江申出云々回答有之既ニ本年三月廿五日附書簡ヲ以テ  
及御通知ハ儀ニテ未タ前身代限り所分如何相成居ハ哉司法省裁  
判所江聞合不申テハ当方ニテ此度ヘルホウソン氏訴之事件所分  
難致ハ間司法省裁判所江聞合中此訴狀一應及御返却ハ間同氏江  
御下渡置有之度此段申進候拜具

明治七年十月廿七日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

228 Howles 対光村彌兵衛船舶物品売買一件(3)

第四百三十一号

貴国人ダブリユ、ホールス氏ヨリ我国人光村弥兵衛へ係ル事件  
明廿九日午前第十時原被并ニ証拠人等對審可致去ル廿二日第  
四百二号附書簡ヲ以申進置ハ処当方ニ於テ差支之儀出来候ニ付  
同日之吟味ハ差延ハ就而ハ追而日限取極御報知可致ハ条此吉ホ  
ールス氏へ御達有之度此段申進ハ拜具

明治七年十月廿八日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

229 柳吉兵衛対 Browne 普請受負金滞一件(1)

第四百三十三号

貴国人ブラウン氏江係リ我国人柳吉兵衛ヨリ別紙之通普請受負  
金滞事件及出訴候ニ付則訴状其外書類共取束子差出ハ条可然御  
取扱有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十月廿九日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫領利太尼亞皇帝陛下ノ裁判所ニ於テ

大坂北大組第四區

龍田町

原告人 柳吉兵衛

被告人 ブラウン

兵庫大坂領利太尼亞皇帝陛下ノ権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

右原告人柳吉兵衛之歎願左ニ申上候

第一條 昨年十月四日被告人ヨリ小野新田ニガスト一場建築致候

ニ付普請方見積リ書可差出様申之ニ付別紙約定書寫之通追々見積リ致惣計金高七千三十三圓八十八錢入札致候處原告人江落札相成候ニ付則十一月一日ヨリ普請取掛リ晴天百六十日間ニ就成爲致可申答ニ致置候事

第二條 右普請中ハ被告人方ヨリロース成ル者日々場所江差出シ則同人ヨリ萬端差圖致候ニ付原告人ニ於テハ総テ右差圖之通建築致候事

第三條 右建築期限ハ第一條之通ニ候處被告人方ニテ可致仕事同方ニテ及延引ニ且箇所増追々有之夫ニ付多分日数モ相掛リ去ル九月四日ニ至リ総テ成功相成候然ルニ請負金高之内是迄漸々ニ受取候殘金別紙計算書之通り千六百四十圓拾六錢八厘有之候處被告人ヨリ相渡具不申候事

第四條 其後右殘金拂方致具候様數度及掛合候得共相渡具不申今ニ老錢モ受取不申候事因テ原告人左之通歎願仕候  
第一條 右之次第ニ付被告人ヨリ可受取條理アル金子之儀ニ付御裁判ヲ仰度候事

第二條 御吟味之上可受取理アル分ト判決相成候高ヲ速ニ原告人江相拂候様被告人江御申付被下度候事

第三條 原告人右申立候手續之外猶御吟味相成候儀モ有之候得ハ

審ニ可申立候事

右訴訟之被告人タル者ハ神戸居留地二十六番之商館ニ營業罷在候ブラウンニ候ナリ

明治七年第十月廿四日

原告人

柳吉兵衛

御請負約定證書

一金千七百五拾圓五十錢 右ハ機械場并石灰入場三ヶ所請負代  
一同貳千五百五十三圓八十八錢 右ハ大穴其外煙出シ機械用石請負代

一同貳千十圓九十五錢 建家ニ階建并平家建コソク部家請負代

一同八拾壹圓 井戸貳ヶ所請負代

一同拾三圓五十錢 機械下地行カタメ請負代  
一同五拾三圓六十五錢 右ハ四十八尺二十六尺地面瓦敷請負代

一同七拾五圓 軒下地面赤瓦敷請負代

一金五拾八圓五錢 建家内不殘唐紙張請負代  
一同百三拾壹圓九十五錢 家根軒樋請負代

一同貳百五圓四拾錢

ヘンキ塗請負代

一同百圓

地下ケ八百五十六坪請負代

金七千三拾三圓八十八錢

右之通ニテ此度私江請負被仰付候ニ付情々入念右普請中我等勿論下職之者迄喧嘩口論為致間敷候火之元用心別テ念入日数晴天一百六十日之内ニ皆出来可仕候若吉兵エ儀ニ付病氣其外何事ニ不奇不都合之儀出来候節ハ請人之者引受何方迄モ罷出急度埒明御差支致シ間敷候為後日御請書仍テ如件

明治六年十一月一日

大阪北大組第四區

龍田町

請負人

柳吉兵衛

同組同町

受人

柳 彌助

大坂東大組二十三區

北久寶寺町三丁目

受人

山田安右衛門

同北大組第四區

朝日町

同

中谷長八

神戸居留地ガス燈掛リ

二十六番様

右之通ニ御坐候以上

明治七年第十月廿四日

右

柳吉兵衛

普請金計算書

一金七千三十三圓八拾八錢

明治六年十一月一日別紙約定書ヲ

以請負致候分

一同六拾四圓三十三錢八厘

右約定外ニ普請中箇所増相成候分但シ平家ノ建物コック部家石臺并用地ノ地下ケ坪増又機械パイプノ瓦積尚又地堺石入用代

金七千九十八圓二十卷錢八厘

内金五千四百圓

明治六年十一月十四日ヨリ同七年六月三

日迄十六ケ度ニ受取

同五十八圓五錢

建家住居向唐紙張見合ニ相成請負金高ヨ

リ引去ル

差引残テ金千六百四十圓拾六錢八厘

全滞リ

右之通ニ御坐候以上

明治七年十月廿四日

大坂北大組第四區

龍田町

柳 吉兵衛<sup>㊟</sup>

230 Strone 材木ヲ盜ヤレル(5)

第四百三十五號

貴国人ストロム氏ヨリ我国人江戸網弥助江係ル材木紛失一件當所檢事局ニ於テ取糺シ之末去ル九日上山權中檢事ヨリ申進置<sup>ハ</sup>通ニ有之其後弥助吟味中去ル十三日逃走イタシ行衛不相当當今搜索中ニ有之然ル処ストロム氏江取揚置荷車ハ岡島源七ナル者ヨリ弥助借受<sup>ル</sup>品ニテ則チ別紙之通源七ヨリ願出候間御異存無之<sup>ハ</sup>ハ右荷車ハ同人江引渡<sup>ハ</sup>様ストロム氏江御申達<sup>シ</sup>有之度此段及御掛合<sup>ハ</sup>拜具

明治七年十月三十日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

奉願上<sup>ハ</sup>書附

兵庫西宮内町

岡島弥七

一私義貸車渡世之者ニ御座<sup>ハ</sup>処本年九月一日私所持之荷車老挺兵庫東川崎町江戸網弥介与申者江老ヶ月賃料金老円九十弍弍ニ定約仕右車貸渡<sup>ハ</sup>処其後同人義不束之筋有之右車外國人ストロム氏江被取上<sup>ハ</sup>由承<sup>リ</sup>ハニ付則弥介江掛合仕<sup>ハ</sup>処當御裁判所ニ於テ御吟味中之趣ニ付差控居<sup>ハ</sup>処本月十七日頃右弥介何方へ致逃走行末相知<sup>レ</sup>不申甚難決仕<sup>ハ</sup>間何卒右車ストロム氏ヨリ返<sup>シ</sup>呉<sup>ハ</sup>様御裁判被成下度奉願<sup>ハ</sup>

明治七年十月廿九日

右

岡島弥七<sup>㊟</sup>

右町什長

高橋市郎右衛門<sup>㊟</sup>

兵庫裁判所長

少判事土居通夫殿

231 Hagart 对堀口屋喜兵衛并若江屋新兵衛貸金訴訟(5)

第四百卅六号

去ル十四日第百五十一号附貴翰ヲ以貴国人ハガルト氏ヨリ我国人若江屋事川北新兵衛及ヒ坐古屋事元田弥平次江掛リ候事件右被告之者共ハカルト氏ヲ欺キ金子掠取ハ旨之同氏申立書御差廻ニ付正ニ落掌承知致新兵衛弥平次再應及吟味候処別紙口供之通リ申立詐欺之所為トハ難取極ハ尤ハガルト氏方ニ別ニ証拠モ有之ハハ差出候様同氏江御申達シ有之度此段及御回答候拜具

明治七年十一月九日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、 アン子スリー貴下

神戸長狭通六丁目

赤松たけ方同居

川北新兵衛

五十三年二月

神戸在留英国人ハガルト大坂道頓堀久左衛門町堀口屋喜兵衛

金子借受ハ節返辨方受人ニ相立候始末御吟味ニ付左ニ申上候

一明治三年十一月頃ニハ神戸仲之町ニ於テ旅籠屋渡世罷在ハ然  
如其節ニ京都数屋町之商人ニテ諸取引之口次渡世致居ハ豊田彦  
七ト申者止宿為致其旅籠料金廿八円七拾五錢ト錢五貫八百五拾  
文滞ハ得共相拂呉不申ハニ付度々催促致ハ即今金子貯ハ勿論  
差向調達可致トノ目的モ無之然レ共同人懇意ニ致シハ大阪道頓  
堀久左衛門町商ニテ彦七同様口次渡世ノ為神戸城下町鉄屋弥五  
平方ニ止宿致居ハ堀口屋喜兵衛ト申者鉄道ニ用ル松材木買入度  
右代價ニ可致迎大炮四挺并髪毛網二房買入致シ英国人ハカルト  
商會ニテ金五百円借受ハ管彦七口次致シ粗談シモ可整運ニ致リ  
ハ得共ハガルト儀神戸西本町貿易商本田弥平次并ニ外ニ儲ナル  
者受人ニ不相立ハテハ貸渡シ難キ旨申居就テハ此受人出来ハ  
ハ五百円借受之談シ整可申然ル時ハ借主喜兵衛ハ金廿八円五十  
錢位之周旋料貰受候ニ付其金子ヲ以旅籠料滞ヲ相拂ハ様可致ハ  
間私儀受人ニ相立呉度ト頼リニ彦七ヨリ被頼ハ事  
一受人ニ相立ハ儀承知ニ候ハハ弥平次モ受人ニ相立ハ様私ヨリ  
モ頼呉度ト申聞ハ事  
一右ニ付質入可相成品委細承リハ処唐銅大炮四挺并髪毛網大小  
取交二房ニテ返済期限モ纒三ヶ月間之由ノミナラス品出所モ儲  
ニ付品柄ニ於テハハガルトモ異存無之旨申聞就テハ萬一期限ニ

至リ金子借主返済不能ハ共買入之品ヲ以金子調達出来可申ニ付返金滞之思無之ト存込事

一受人ニ相立ハ共后日ニ至リ迷惑ハ不相掛トノ証書堀口屋喜兵衛ハ差入ハ旨彦七申之同人ヨリモ別紙一印之通書面差入就テハ旅籠料滞モ入掌出来致シ左モ無之ハハ日ニ増困窮致シハ彦七故別ニ金子取立方之目的モ無之折柄右体随儀傍后日難儀モ起ル間敷ト存シ彦七頼之趣承諾致シ候事

一其頃私方ニ召仕居ハ平兵衛ヲ以右質物検査トシテハガルト方江彦七并喜兵衛同道差遣シハハカルトモ立會大炮四挺并髪毛網二房共見改メ事實無相違同方ニ有之旨申聞尤平兵衛儀右品五百円之價有無ハ平常不取扱品柄ニ付監定難届ト語り居ハ得共商法熟煉ノハガルト既ニ質入承知之上ハ別ニ心配スルニ不及ト存居事

一右質品出所平兵衛ハ喜兵衛ニ相尋ハ由之所阿波ヨリ出テ慥ナル物ト申聞ハ旨平兵衛ヨリ承リ候事

一堀口屋喜兵衛ハ英國人ハガルト江質入致シ金子借受候證文ニ受判致吳度若シ期日ニ至リ金子返済相滞ハ共私方ニテ引受判平次ニハ迷惑不相掛ト之証書召仕之者ニ為持委細ハ其者ハ陳述ハ様申含弥平次ニモ受判之儀頼遣シハ承知之ハ返事有之候事

一弥平次ハ其頃同商買ニテ知ル人ニ有之ハ事  
一折節商用ニ付大阪表江罷越ハニ付姉たけ江印形相預ケ喜兵衛ハ質入證書受入之押印申来リ候ハハ調印致シ迷惑不相掛ト之証書喜兵衛ハ取置ハ様頼置出立致シハ事

一兩三日相過キ帰宅致シ右始末姉たけニ相尋ハハ彦七喜兵衛兩人ニテ證書持參ハニ付押印致シ相渡別紙ニ印之証書喜兵衛ハ取置召仕平兵衛ヲハガルト方込同道為致弥平次ハハガルト方江罷越押印致シ夫々取引相済同人立戻リハ言承リハ事

一彦七ハ此頃兼テ喜兵衛止宿罷在ハ鉄屋弥五平方江宿替致シ約定之旅籠料滞リ相拂吳不申案外相違之所業如何ニモ難得其意敵敷掛合ハハ漸ク内金八円五十匁差入餘ハ彼是申遁レ今以皆済受取不申候事

一ハガルト与喜兵衛与之貸借ノ起リハ其頃耽ト承リ置不申候得共ハガルト雇人惣七ナル者兼テ彦七ト懇意ニ致シ居ハニ付此者ハ口次致シハ儀与被考ハ事

一ハガルト江金子返済期限后喜兵衛儀済方不致ハ故私方へも敵敷掛合受ハ得共追々困窮相成彼是延引致シハハ遂ニ大阪府江及出訴喜兵衛弥平次俱々ハ相手取ハ事

右手續ニ而受人ニ相立候ニ相違無之ハガルトヲ欺キ金子掠取候トノ心体ニハ決而無御坐全彦七滞之旅籠料ヲ同人ハ可請取



ト存ハ尠纒八円五拾錢入掌致シ由而已ニテ皆済モ受不申且喜兵衛ヲ取置由証書之通私江迷惑不相掛様同人江掛合由得共是も終ニ失跡致シ其功モ不成就テハ私ヨリハガルト江受人之廉可相立答ニ付種々心配致シ由得共追々困窮ニ及ビ折柄餘人ノ數口訴訟終ニ即今ニ至ル迄返済方難致次第ニテ詐欺之所為等ハ聊覺無御座候

右之通相違不申上由以上

明治七年十月三十一日

右

川北新兵衛

兵庫古湊町壱丁目

元田彌藏方同居

元田彌平次

年 月

神戸在留英國人ハガルトヨリ大坂道頓堀久左衛門町堀口屋喜兵衛金子借受候節返弁方受人ニ相立候始末御吟味ニ付左ニ申上候一明治三十四年十一月頃ニハ神戸西本町ニ於テ貿易渡世罷在然ル処商用ニテ見届居候京都駄屋町商人ニテ諸取引之口次渡世罷在ル豊田彦七并ニ堀口屋喜兵衛兩人同道ニテ私方江罷越シ申

聞候ニハ右喜兵衛儀此度英國人ハガルト江大炮四挺并ニ髪毛網貳房質物ニ差入金子五百円ハガルトヨリ借用之積リニテ已ニ談判ハ行届候得共何分請人無之テハ金子借受難出来ニ付私江請人ニ相立呉候様申込候得共同人共ハ他所之者ニテ身元モ不存候故相断候尠尚此後モ両度斗頼越候得共前同様断ニ及ヒ候事

一 然ルニ其後若江屋新兵衛方ヨリ使之者ヲ以右ハガルト喜兵衛ノ貸借ニ付テハ新兵衛モ已ニ前書彦七ヨリ被相頼受人ニ相成尤新兵衛ヨリ私江ハ後日難事出来候共迷惑相掛ケサルトノ証書ヲ可相渡候間俱々受人ニ相立呉度申越且別紙三印通ノ証書モ持參致シ居殊ニ其頃新兵衛ハ相應身上モ亘布將タ右貸借ハ質入之事故返済延滞之患モ無之ト相考エ新兵衛ハ同商之者ニテ旁難止候ニ付右頼ニ應シ受人ニ相立候儀承諾致候事

一 依テ右貸借之金子受渡之節喜兵衛彦七并ニ新兵衛召仕平兵衛ト同道ニテハガルト方江罷越シ同方ニ於テ右借用証文江私印形相捺シ取引相済候事

一 右取引相済候後喜兵衛自分宅江罷越シ前日受人ニ相立候廉ノ謝儀ヲ述金子三円差出シ受納致シ呉候様申聞候ニ付相納置候一右受人ニ相立候儀私ニ於テハ若江屋新兵衛ヲ目的ニ致居候儀ニ付喜兵衛ヨリ巨細ニ承リ候訳ニハ無之候得共右質物ヲ以喜

兵衛江借受候金子ハ同人儀鐵道ニ用ユル松材買求ニ使用致シ候儀ト承リ居候

一其後ハ喜兵衛儀当地江立越候趣承リ候得共別段私方江ハ立寄不申候事

一ハガルト江金子返済期限後喜兵衛儀濟方不致候故私方江モ嚴敷掛合受候得共追々困窮相成彼是延引致シ候処遂ニ大坂府江被及出訴喜兵衛新兵衛俱々被相手取候事

右手続ニテ受人ニ相立候ニ相違無之ハガルトヲ欺金子掠取候トノ心体ニハ次テ無御座全ク新兵衛ヨリ被相頼且ハ同人ヨリ迷惑不相掛ケ吉証書ヲモ受取殊ニ前申上候通質物貸借之儀ニ付返済方ニ付難事モ無之ト存候儀ニ御座候処ハガルト、ヨリ出訴後本人喜兵衛ハ失踪致シ新兵衛身代モ其頃追々疲弊ニ及ヒ兼テ同人ヨリ受取置作証書モ其功無之儀ニ立至リ然レ共受人ノ廉ヲ以テ種々心配致シ候得共追々貧窮ニ迫リ就テハ余人ヨリモ数口訴訟ニ及ハレ終ニ即今ニ至ル迄返弁方難致次第ニテ詐欺之所為等ハ聊覺無御座候

右之通相違不申上候以上

明治七年十月  
元田彌平次

右印 御約定之事

一金貳拾八兩三分ト

五貫八百五拾文

右之通無相違當十二月廿九日正九ツ時迄ニ急度相濟可申候尤此儀ニ付堀喜殿ニ先々此度毛綱一件ニ付兎モ角モ御當家一條之宿料之分者急度御弁之約定ニ御座作萬一相違作節ニハ堀喜殿ノ宿料之儀ハ少シモ御迷惑相掛中間敷候為後日相無違書付如件

明治三年午十二月三日

豊田彦七爪印

若江屋新兵衛様

同 御店衆中様

式印 差入申一札之事

印

一金五百兩也

右者此度英拾番ハガルト商會ニ而我等方所持之毛綱大小二房右大炮四挺並合仕候処夫ニ付貴殿請人ヲ御頼ミ申上候處然ル上ハ限月至リ若金子相滞リ彼是仕候而先方ニ差入之品物御賣拂相成候而尤何程損金相立作而

印

も急度私る返済仕此儀ニ付何々様之事出来仕共少シモ貴殿  
へ御難儀相掛ケ中間敷ハ為後日差入證文依而如件

明治三年午十二月廿三日

大坂道頓堀新屋敷

久左衛門町

置主 堀口屋喜兵衛

若江屋新兵衛殿

三印 一札之事

一堀口屋喜兵衛質物之儀ニ付證印被下ハ得者限月至リ金子返納  
相滞ハ共我方ニ急度引受貴殿少シモ御迷惑相掛申間敷ハ聞其  
為書入一札依而如件

明治三年十二月廿五日

若江屋新兵衛

坐古屋弥平次殿

232 Howles 対光村彌兵衛船舶物品売買一件(4)

第四百四十三号

兼而御掛合有之ハ貴国人ホールス氏ハ我国×蒸氣船光運丸船主  
へ係ル詞訟一件来ル十一日午前第十時原被告對審可致ハ条同刻限  
ホールス氏證據物相携當裁判所江出頭致ハ様御達有之度此段申  
進ハ拜具

明治七年十一月十日

兵庫裁判所長不在ニ付代

司法権少判事 上山惟清(花押)

233 Herhausen 対飯尾伝吉訴訟(2)

第四百四十四号

貴国人へハウスエン氏ハ我国人飯尾傳吉江掛ル事件此程同人婦  
宅致ハニ付則取調ハ處別紙之通答書差出ハニ付御廻申候間原告  
人ニ御下ケ渡之上異論有之ハハ時日取極原被告突合吟味可致ハ  
条否御報有之度此段申進ハ拜具

明治七年十一月十日

兵庫裁判所長不在ニ付

司法権少判事 上山惟清(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

明治七年十一月六日

拂入金催促之訴答書

神戸元町通三丁目

飯尾傳吉

神戸元町通三丁目

商

被告人 飯尾傳吉

拂入金催促之訴答

神戸在留英国人へハウスエンヨリ私江相係リ拂入金催促之義御  
訴訟奉申上候ニ付御呼出之上右訴狀御渡ニ相成披見承知仕左ニ  
御答奉申上候

第一條

一右原告人へハウスエンヨリ御訴訟奉申上ハ通神戸海岸通三丁目  
目塚本仙之助ハ同人江可拂入金三百圓有之ハ處急速金子出来  
兼ハニ付猶豫相頼ハ得共其儀原告人承知不仕尤私引請ハ得者  
猶豫可致旨申シ右之者者私朋友之義ニ付無餘義引請之百圓金  
子預リ手形原告人江相渡置候義ニ御座候

第二條

一右塚本仙之助ヨリ私江未タ金子相渡與不申ハ故私ハ原告人江  
拂方延引ニ相成申ハ得共右之訳柄原告人茂能ク承知仕居ハ乍

併一旦引請候儀ニ御座ハ得者私ハ可拂渡ハ義者兼而承知仕居  
候

第三條

一右之通可拂渡之處昨明治六年十月中原告人へハウスエン之手  
續ヲ以英国江差送り申ハ品左之通り

一縫帛紗大小取合 四拾六枚

一粟田焼陶器取合 七十

右之代價私江原告人ハ可請取答ニ御座候處相渡與不申依之右  
品代金ト差引計算仕ハハ粗無出入之答ニ御座候間差引勘定  
致與ハ様御裁判被成下度奉願上候  
右之通相違無御座候已上

明治七年十一月六日

右

飯尾傳吉

神戸濱宇治野町

商

代書人田中源造

兵庫裁判所長

少判事土居通夫殿

234 Byrne 猟銃誤射事件(1)

第四百四十六号

貴國人エドワルド、ビールン氏儀本月二日京都府下山城國綴喜郡八幡庄地内ニテ同所平民柴田茂兵衛江猟銃之為ニ誤テ銃傷を負ひ段別紙之通京都府ヨリ申越就テハ貴下於テ可然御処分有之度依テ書類相添此段及御掛合ひ拜具

明治七年十一月十一日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

追而右エドワルド、ビールン氏別紙之通外務省免状所持罷在直ニ近江國江立越ひ趣ニ有之候

當管下山城國綴喜郡第老區八幡庄四番組商柴田茂兵衛儀本月二日外國人猟銃之為ニ誤テ銃傷請候段則別紙一印之通届出ひニ付疵所検査且実地景況為取調候處二印之通ニ有之依テ外國人之止宿夫是探索候処府下上京第三十老區大坂町野村庄兵衛方止宿英國人エドワルドビールン同國ヘンリー、エスジョン、フルー子

ニ引當り候ニ付右等所業有無尋問候處右エドワルドビールン、ヨリ別紙三印之書面写之通差出ひ間鳥獸猟免許鑑札有無相尋候處右制法不相心得故鑑札所持不致旨申立且同人義明日當地出足近江より越前迄罷越候旨申之候處其縣居留人之儀ニ付右書類老綴并通行免状写相添差出候右者其御廳ニ而御處分相成義ニ候哉否至急御報有之度此段及御掛合候也

七年十一月四日

京都府知事長谷信篤

兵庫縣令神田孝平殿

御 届 書

綴喜郡第一區八幡庄

四番組

柴田茂兵衛

六十一歳

右之者今二日午後三時頃御達書到来ニ付當庄内小学校ヨリ山崎庄村役方へ為持遣シ候道筋橋本上渡シ場邊ニテ外國人式人ニ出逢ヒ候處老人銃炮ヲ相携ヘ罷在ひ折節颯徘徊致居候ヲ目掛相發ひソレ玉右茂兵衛身躰四ヶ所へ相當り候ニ付此段御届申上候以上

明治七年十二月二日

右區長

家村久左衛門印

京都府知事長谷信篤殿

外國人炮發致候ニ付手續書

綴喜郡第壹區八幡庄

四番組

柴田茂兵衛

六十一歳

私義今二日午後三時頃御達書到来就而者當庄内小学校より大山崎庄村役方江持参仕道筋橋本上之渡シ場邊ニテ外國人兩人ニ出逢ヒ候折節近傍馳徘徊致居候ヲ見付炮發致シ其ソレ玉私身躰額老ケ所咽老ケ所左股式ケ所都合四ケ所江相當リ十方ニ具如何相成候哉ト驚入候處右外國人私シヨ山崎鎮道外國人居住江召連レ帰金五円ヲ相渡候ニ付此金ヲ以養生可致吾被申渡右金請取可申答者無之候得共押而被申候ニ付不得止持歸リ途中ニ而區長番人衆ニ出逢右始末被相尋候ニ付前書之通申述候處急速外國人居住江引合ニ被罷越其上御出張江御届相成候上御検使被成下重々難有仕合奉存候此段御尋ニ付手續書ヲ以奉申上候以上

明治七年十一月二日

本人 柴田茂兵衛印

親類 山田太兵衛印

伍頭 中村利兵衛印

前書之通相違無御座候ニ付奥印仕ル以上

右區長

家村久左衛門印

京都府知事長谷信篤殿

御尋ニ付容体書

綴喜郡第一區八幡庄

四番組

柴田茂兵衛

六十一歳

右之者今六時初診疵ケ所面額ヨリ顚顚之際問ニ当リ老ケ所五軟骨ヨリ胸骨第一片之際問老ケ所足脚股外表面老ケ所膝ヨリ少ク上ノ部老ケ所小丸玉疵以上四ケ所出血歇止疵口収縮然ト虽凡疵口周圍微焮腫疼痛行動使ナラス其上神思驚駭寒熱交作リ脉数飲食定期ナク先投スルニ鎮痙薬之ニ兼ルニ清涼鮮熨劑等外疵上清涼軟膏塗布攝養仕候御尋ニ付此段奉申上候以上

明治七年十一月二日

八幡庄

醫 中村通文印

京都府知事長谷信篤殿

綴喜郡第一區八幡庄四番組柴田茂兵衛儀外國人より銃傷受候儀  
ニ付検査出張事實取調候處外國人名前不相知候ニ付則大山崎庄  
鎮道寮出張官員垣塚権大属十四等出仕塩田庸人中村幸得右三名  
之内西村幸得ニ面會尋問候處名前不存旨申立候ニ付同寮御雇外  
國人へ相尋吳度段依頼致候得共同人迎も名前不存旨申出由然  
ルニ別紙柴田茂兵衛申立之通同寮江連行介抱致遣候儀ニ付御雇  
外國人迎も無縁之毛のニ有之間敷依而再三及尋問候得共全ク不  
心得旨相答候ニ付不得止諸處探索之処入京之趣ニ相聞候ニ付夫  
々手當仕外間此段言上仕外也

十一月三日

高木少属

綴喜郡第一區八幡庄

柴田茂兵衛銃創

檢 使 書

山本徳三

綴喜郡第一區

八幡庄四番組

商 柴田茂兵衛

六十一年

右之毛の今二日午後第三時姓名不相知外國人ニ銃創ニ為負候趣  
届出候ニ付即出張疵所及検査候處左ニ

一 額左側ニ 沓ヶ所

一 咽喉胸胃ノ際ニ 沓ヶ所

一 股外側ニ 沓ヶ所

一 膝ヨリ上ニ 沓ヶ所

右四ヶ所何レモ細キ小玉疵ニ付出血有之右始末及尋候處茂  
兵衛申立候ニハ今二日午後第三時頃御達廻文當庄小学校ヨリ山  
崎庄村役人方辻持参之途中橋本上渡シ場ニテ二人連之外國人ニ  
出會凡五六間斗リ隔ル處馳徘徊罷在候ヲ目當テ吾人ノ外國人直  
ニ炮發致候處不圖私江相當リ候ニ付打驚候處右外國人ニ引起サ  
レ同人所持半紙取出シ種々介抱致シ吳候得共疵所痛ミ甚敷且老  
年ノ事ニ付手足等も難相叶難儀ニ罷在候處同人より山崎庄鉄道  
掛リ外國人出張所江連レ行き金五円差出尤言語難通候得共右ハ

全ク謝罪且ハ疵療養手當ニ差送り候儀ト相心得再三差戻シ素ヨリ可請取積ニハ無之候得共強而相渡ニ付不取敢預リ置御府江御届可致ト相合歸路區長并ニ番人等ニ行逢始末ヒ相尋候ニ付前条之通申伸候趣則別紙之通申立候ニ付外国人名前相尋候得共名前ハ不申聞吉相答候間近邊承リ合セ候處前書之通相違無之ニ付醫師江容体相尋候処甚危難ノ旨申立候ニ付精々療養差加ヘ全癒之上ハ届出ひ様申付置候依之別紙書類相添此段言上仕仕也

七年十一月二日

等外四等出仕

山本徳三

拙者儀昨日橋本近傍ニ而渡船ノ来ヲ待ツ時灰鼠ヲ認メ発炮セシニ不幸ニシテ其彈子地上反射シテ程遠キ所ニ飛散シ田夫ヲ疵ク其人ヲ檢點セシニ彈子身内ニ鑽入セスシテ纈皮膚ヲカスリ微シク出血ス依之其人ヲ人力車ニ乗セ山崎鏡道寮役所ヘ至リ通弁ヲ借ラントセシニ得難キ故ヲ以テ拙者直チニ其人ニ對シ意外ノ過失ヲ懇ニ謝罪シ傷所ノ薬代或ハ養生中ノ資トシテ金五円ヲ差送り田夫ハ暫時休息シテ立歸リ候其節格別重キ傷ミノ様ニモ不相見ハ不幸中ノ幸甚ニ有之候拙者儀不慮ニシテ此不幸ノ事ニ遭遇シ実ニ苦心ニ不堪候伏而懇願ス閣下ノ慈悲心ヲ以テ閣下ノ士官

ニ令シ田夫ヘ深ク憐恤ヲ加エラレ迅速ニ快復候様御所置アラシ  
トテ頓首百拜

千八百七十四年十一月三日

於京都

エトワルトポーン

京都府知事公閣下ヘ呈ス

英国人

エドワルドビールン

右者養生之為東京より越前敦賀及其近傍海岸江相越度段願出候  
旨同国公使ヨリ申立差許候条道筋無故障相通可申事

明治七年九月七日

外務省

同国

ヘンリーエスジョンブリー子

右者養生之為京都琵琶湖及ヒ駿河江相越度段願出ひ旨同国公使  
より申立差許候条道筋故障ナク相通可申事

明治七年八月三十一日

外務省



235 Herhausen 対成尾屋安兵衛払入金催促一件(2)

第四百四十五号

去月廿日附第百五拾三号貴翰ヲ以貴国人ヘルホーンソン氏ヲ我国人成尾屋安兵衛江係ル拂入金催促之詞訟御差廻相成ルニ付則同月廿八日附書翰ヲ以御回答及ヒ置候通り司法省裁判所江問合ル処右安兵衛身代限り延引之儀ハ今以貴国公使ノ何等御申出無之ニ付断然身代限り所分可及吉回答有之ハ間身代限り所分可及ハ得共尚ヘルホーンソン氏ニ於テ身代限り延引相望ルハ兼テ御通知及ヒ置候通り貴国公使ノ外務省ヲ經由シ司法省裁判所江早々可申出様同氏江御申通有之度尤来ル十七日迄ニ否御回答無之候ハ司法省裁判所於テ所分及ヒ通身代限り之手数取扱ハ間此吉同氏江御申通有之度此段及御掛合候拜具

明治七年十一月十一日

兵庫裁判所長

司法少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

236 源昌号対 Cruchley 貸家取戻訴訟(6)

第四百四十九号

先般及御掛合置候清国人源昌号ヨリ貴国人クルセリー氏江相掛リ候貸家取戻シ事件ニ付即今別紙之通原告人ヨリ申出候ニ付則書面差出候条可然御取斗有之度此段申進候拜具

明治七年十一月十三日

兵庫裁判所長不在ニ付代理

司法権少判事 上山惟清(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

究固尔寫尔篤租屋一事小号自前十月間赴座前屢次投票延今数月之久未見回音不知如何辨結伏乞貴下究追歸還沿惑不已切叩上

稟

明治七年十一月十三日

清商福建源昌號

陳潤候

兵庫及大阪英國貌利大泥亜皇帝陛下權領事

烟特厘貴下

237 Strome 材木ヲ盜ハレル(9)

第四百五十五号

貴國人ストロム氏我國人江戸網弥助ヨリ取揚置荷車之儀ニ付車所有者岡嶋源七願書相添本年三十日第四百三十五号ヲ以テ及御掛合置候処今以テ御回報無之右ハストロム氏異存無之候ハム為受取直ニ同氏館江源七罷越ハ様可申付ハ間此段及御問合ハ拜具

明治七年十一月十九日

兵庫裁判所長不在ニ付代理

司法権少判事 上山惟清(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

238 Byrne 獵銃誤射事件(2)

第四百六十三号

貴國人エドワルトビールン氏ヨリ銃傷受ハ京都府下商人芝田茂兵衛儀ニ付別紙之通京都府ヲ申越ハニ付為御心得寫御廻申候拜具

明治七年十一月廿五日

兵庫裁判所長不在ニ付

司法権少判事 上山惟清(花押)

英國権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

本月二日管内山城国綴喜郡第一區八幡庄於テ英國人ヨリ銃傷負ハ芝田茂兵衛儀此節疵所大概癒ハ段別紙之通届出候間書面相添此段及御掛合ハ也

七年十一月廿二日

京都 府印

兵庫裁判所

御 届

綴喜郡第一區八幡庄

柴田茂兵衛印

右之者義去ル二日山崎庄へ罷越候節外人炮發致候ニ付其ソレ玉身躰四ヶ所へ相中リ疵付ハニ付當庄内醫中邸通文之施治ヲ受養生仕ハ處日増ニ從ヒ追々癒方ニ差向キ最早此頃ニテハ粗平癒仕候ニ付此段御届申上候以上

明治七年十一月十八日

石親類

山田太兵衛<sup>㊟</sup>

前書之通相違無御座<sup>ハ</sup>糸奥印仕候以上

區長 家邸久兵衛<sup>㊟</sup>

京都府知事長谷信篤殿

239 大阪屋平次郎対 Lucas 訴訟

第四百六十三号

貴国人ルツカース氏江係ル我国人大阪屋平次郎出訴事件ニ付過

日被告人答書御差廻相成原告人江相達置候處別紙之通申立<sup>ハ</sup>糸

御承知有之度此段申進候拜具

明治七年十一月廿五日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫貌利太尼亞皇帝陛下之裁判所ニ於テ

原告代言人宮下幸文

被告人 ルツカース社中

兵庫大阪貌利太尼亞皇帝陛下之権領事ニエ、アン子スリー貴下

右原告京都府下四條通御旅町大阪屋平次郎代言人神戸札場町寄

留兵庫縣貫属宮下幸文左ニ申上候

一被告人ヨリ差出シ候返答書熟閱致候處安田新兵衛ナル者トル

ツカース氏社中ト取結ヒタル定約ニテ平次郎ヨリルツカース

社中江直チニ相係ル筋ニ無之段初而了知候間此上突合之御吟

味不奉願候

明治七年十一月廿五日

原告代言人宮下幸文<sup>㊟</sup>

240 柳吉兵衛対 Browne 普請受負金滞一件(2)

第四百六十五号

貴国人ブラウン氏江係ル我国人柳吉兵衛出訴事件ニ付別紙之通

申立<sup>ハ</sup>依而書類差進<sup>ハ</sup>糸可然御取斗有之度此段及御掛合<sup>ハ</sup>拜具

明治七年十一月廿七日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫於英国裁判所

原告人 柳吉兵衛

一請負金淹滞之訴

被告人 ブラウン

英国代弁領事兼裁判官

エ、エ、アン子スリー貴下

一右事件去ル十月廿四日出訴仕ハ処末タ何タル御達も無之延日

ニ随ヒ迷惑仕ハ間何卒急速御吟味ヒ成下ハ様奉願ハ也

明治七年十一月廿七日

原告人 柳吉兵衛

241 Howles 対光村彌兵衛船舶物品売買一件(5)

第四百六十六号

昨廿六日附第百六拾三号之御書簡ヲ以貴国人ハウルス氏ガ我国  
蒸氣船光運丸江係ル事件ニ付代人ウイグナル氏即今帰港之趣御  
報知致承知候就而者来ル三十日午後第二時原被并證據人等取調  
可致ハ条ウイグナル氏同刻限當裁判所江出頭ハ様御達有之度此

段申進ハ拜具

明治七年十一月廿七日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

242 源昌号対 Cruchley 貸家取戻訴訟(7)

第四百六十八号

本月十四日第百六十号附貴翰ヲ以清国人源昌号ガ貴国人クルツ  
チリ氏江係ル家屋取戻之事件ニ付被告人返答書相添御回之趣致  
承知右之段原告人江相達置候處即今別紙之通裁判願書差出ハニ  
付則御廻申ハ条可然御所分有之度此段申進ハ拜具

明治七年十一月廿八日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫英國裁判所

原告人清國源昌號陳潤候

被告人英國固尔寫尔篤

稟為追還房屋案件

英國代辨領事裁判官烟時厘貴下

懇求着該被告人赴衛會審終始料必由此清白懇求準稟小號

戴德靡涯矣

明治七年十一月廿四日

原告人清國源昌號陳潤候

243 Cabeldu 帽子盜難事件

第四百七十号

貴国人カベルジウ氏被盜取ハ帽子引渡可申ニ付明後二日午前第十時受取人當裁判所江差出候様同氏江御達有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十一月三十日

兵庫裁判所々々

少判事 土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

244 Hehansen 对成尾屋安兵衛払入金催促一件(3)

第四百七十号

本月十六日附第百六十一号貴翰ヲ以貴國人ヘルホーソン氏ヨリ我国人成尾屋安兵衛江係ル詞訟ニ付身代限之儀云々御回答之趣致承知候右ハ元来六年十二月中司法省裁判所ニ於テ處分ニ及ヒ候末右安兵衛儀當所居住之者ニ付身代限リ取扱方同所ヨリ相托シ来リ候ニ付右事件屢御問答ニ及ヒ候儀ニ有之拙者ニ於テ別段裁判致シ候儀ニハ無之尤安兵衛身代限リ相成候詞訟一件ニ付飯尾傳吉江関スル儀更々無之仍テ安兵衛財産ヲ以負債ヲ償フニ不足スルト虽右傳吉江償却申付難ク就テハ曩ノ身代限延引之儀ヘルホーソン氏相望候ハ、此事件拙者ニ於テ裁判致シ難ク候間貴國公使ヲ經由シテ司法省裁判所江申立同所ニ於テ其儀許可相成候上ハ今般ノ詞訟ニヨリ同人望ミ通リ無差支安兵衛金円返済相滞ル分傳吉暨江シ處分可及其手順不立ニ於テハ不得止司法省裁判所ヨリ申越候通り前身代限リ之處分可及ト存候間同人存意今一應御訊問之上否御回答有之度此段及御掛合候拜具

明治七年十二月一日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

245 榎並利兵衛対 Lucas & Waters 于貝取引一件(9)

第四百七十八号

兼而御掛合及置候貴國人ルツカースウオトルス氏江係リ我国人榎並利兵衛ヨリ及出訴候事件ニ付即今右利兵衛ヨリ別紙之通申出ルニ付則書面御廻シ申候条御落手有之度此段及御掛合ハ拜具  
明治七年十二月八日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

兵庫英国皇帝陛下ノ裁判所ニ於テ

原告人 榎並利兵衛

一于貝並合質入訳立ノ事件

被告人ヘンリー、ルツカース

チヨン、ウオトルス、

右事件本年十月廿六日同廿七日兩日御吟味被成下候處其後何タル御沙汰も無之時日相延ル而者難決仕候間何卒可成火速ニ御裁判被成下候様奉願ル已上

於兵庫

千八百七十四年十二月三日

原告人

榎並利兵衛

在兵庫英国皇帝陛下ノ権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

246 源昌号対 Crutchley 貸家取戻訴訟(8)

第四百七十六号

貴國人クルツチリー氏江係ル清國人源昌号陳潤候ヨリ及出訴ル事件兼而及御掛合置ル處即今原告人帰国致ルニ付而者同號黄良聰へ代言致ル古ヲ以別紙書面差出ルニ付則御廻シ申ル御落手有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月八日

兵庫裁判所々長

少判事土居通夫不在ニ付代理

副所長権少判事上山惟清(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

告稟

在兵庫裁判所長官大人貴下

稟為有事準於廿九日回國前者該稟英國人固尔篤尔篤房屋一案

自記與號内人黄良聽代理但有會審之日懇求飭諭到案則感大德

矣特此上

呈

明治七年十一月廿七日

源昌號主人

陳潤候<sup>㊟</sup>

八閩総官黄景鏞<sup>㊟</sup>

247 柳吉兵衛対 Browne 普請受負金滞一件(3)

第四百八十号

貴國人ブラウン氏江係リ我国人柳吉兵衛及出訴過日被告人之

答書御差廻ニ付原告人江相達置候處別紙之通其御裁判相願度吉

申立ひ依テ願書差進ひ拜具

明治七年十二月八日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫於英国裁判所

原告人 柳吉兵衛

請負金滞滞之訴

被告人 ブラウン

英国代辨領事兼裁判官

エー、エー、アン子スリー貴下

一右事件御裁判可相成様致度此段相願候

明治七年十二月八日

原告人 柳吉兵衛<sup>㊟</sup>

248 日本人遯卒ノ英国人ニ対スル処置ニ就テ(5)

料

第四百八十二号

資

貴國人ゼアースケー氏ヨリ本年八月廿四日附ヲ以テ兵庫縣番人共江係リ及出訴候事件追々取調之末別紙之通及處分ハ且スケー氏江損害相加エタル儀ニ無之ニ付償金請求之儀ハ不致採用ハ条御承知之上同氏江御申達有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月十日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリ貴下

申渡

鹿兒島縣下垂水郡

福町通住平民

正盛弟

前田正則

其方儀兵庫縣二等番人在務中市村久八郎松村立志等俱々電信寮雇入之外國人アスケー氏ヲ拘引スル科雜犯律違式輕ニ依リ私罪タルヲ以テ懲役十日申付ル

申渡

兵庫縣二等番人

小頭

市村久八郎

其方儀本年八月廿一日夜神戸元町通老丁目ニ於テ電信寮雇入レノ外人アスケー氏放尿致シ居ル途同人ヲ屯所江拘引スル段平山貞朝ヨリ指圖ノ上トハ申シナガラ自分職務上兼テ其心得モ可有之筈之処無其儀前頭之始末ニ立至ル科雜犯律違式重ニ依リ懲役二十日ノ處元公務取扱上ヨリノ儀ニ付等外吏ニ準シ私罪ヲ以テ論シ贖罪金三圓申付ル

同縣實屬士族

平山貞朝

其方儀兵庫縣等外二等出仕警視掛在勤中外國人路上ニ於テ放尿スルヲ差止ルノ際事機ニ依リ拘引苦シカラサル旨指圖致スヨリ市村久八郎外四人ノ者共電信寮雇入レアスケー氏ヲ拘引致スニ立至ラシムル科雜犯律違式重ニ依リ士族タルヲ以テ閏刑ニ換ヘ禁獄二十日申付ル

同縣三等番人



松邨立志

其方儀市村久八郎俱々外國人ヲ拘引スル科雜犯律違式輕ニ依リ懲役十日ノ処元公務取扱上ヨリノ儀ニ付等外吏ニ準シ私罪ヲ以テ論シ贖罪金壹圓五拾錢申付ル

同縣一等番人

小頭

長澤廉太郎

市村十一郎

其方共儀市村久八郎等ノ外國人ヲ拘引スル節其場ニ立合周旋スル科雜犯律違式輕ニ依リ懲役十日ノ処元公務取扱上ヨリノ儀ニ付等外吏ニ準シ私罪ヲ以テ論シ贖罪金壹圓五十錢宛申付ル

兵庫縣十五等出仕

丸田忠一

其方儀市村久八郎等外國人ヲ拘引スル一件ニ付取糺ス処彼此ノ間ニ通弁致ス迄ニテ関涉ノ筋無之ニ付構ヒナシ

249 Howles 対光村彌兵衛船舶物品売買一件(6)

第四百八十八号

兼テ御掛合有之候貴國人ハウルス氏ヨリ我國人光村弥兵衛所持光運丸船江係ル釜修覆料滞事件去月三十日原被并ニ證人取調ハ處被告弥兵衛ヨリ原告ハウルス氏江示談之上右釜之儀ハ米國人カルロル社中江関涉之情實有之趣ヲ以テ同人ガハウルス氏江前書滞金拂方可致事ニ約束致ハ旨申出ハ就テハ右示談之趣相違無之ハ、ハウルス氏ヨリ解訟之儀届出ハ様同氏江御違有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月十四日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

250 Byrne 獵銃誤射事件(3)

第四百八十九号

貴國人エトワルドヒールン氏ヨリ銃傷受ハ我國人柴田茂兵衛一件過日及御示談ハ趣意ニ基キ同人之存意及尋問ハ處別紙之通り申立事實貧窮之身分ニテ甚難渋之旨ニ相聞ハ問御異存モ無之ハハ、此上金六円六錢ヒールン氏ヨリ相償ハ様御取扱有之度左ハ

ハ、茂兵衛儀モヒールン氏之厚意ヲ相歛可申ト存ハ仍テ此段及御打合ハ拜具

明治七年十二月十五日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

明治七年十二月八日

始末書

綴喜郡第一區八幡ノ庄

芝田茂兵衛

綴喜郡第老區八幡ノ庄

屋根屋渡世 芝田茂兵衛

五十九才三ヶ月

私儀

去ル十一月二日同郡橋本駅舟渡シ場ニテ外国人砲発被致ハ節傷ヲ請ハ義ニ付此上御訴訟等可申上哉并棄價等之望ミ可有之哉右等之存意可申立吉御達ニ御坐ハ

此段申上候私儀去ル十一月二日午後三時頃村用ニテ大山崎之庄辻書面持参之節橋本駅舟渡シ場辻罷越ハ姓名不知外国人二人東ノ西江人力車ニ乘リ通行之砌道之傍ニ馳走足居ハニ付老人之外国人右馳ヲ見掛ケ砲発ヒ致ハ処借玉私身体額一ヶ所胸一ヶ所左之腿ニケ所相當リ出血ハニ付其俣打倒レハ右外国人ニモ大ニ驚キ早速介抱致呉ハ上自分乘居ハ人力車ニ私ヲ乘セ山崎鐵道出張所江連行右外国人私江申聞ハ詞ハ不通ハ得共養生料ニハ哉金五円私江相送り呉ハニ付貴請置申ハ処右外国人ハ其俣上京ヒ致私儀ハ知ル者之肩ニ縋リ下道之茶店辻罷越ハ節番人衆并區長家村久左衛門ト申者ニ出逢右訳柄ヲ相語りハ処右區長ノ澁京都府出張廳江御届申上置ハ儀ニ御坐ハ然ル処其後同區醫師中村通文ト申者ニ治療ヲ請ケ藥五拾服附藥三具相用ヒハ処日數廿日間程ニテ平癒仕ハ就テハ此上右始末御訴訟可申上儀モ無之且棄價等之儀モ凡金壹円六錢斗リニテ私職業之儀ハ一日ニ付平均凡金五拾錢程ニ相當リ申ハニ付休職日數廿日分金拾円ニ棄代共合金拾壹円六錢ニ相成ハ処強テ貴ヒ請度望ミモ無之ハ得共先方之深切ヲ以今少々償ヒ下ハハ貧乏之私此上モナキ事ト奉存ハ此段御尋ニ付無憚奉申上ハ間宜敷御裁判奉願上ハ以上

明治七年十二月九日

252 Hagart 对赤松熊吉外四名種紙引当金催促一件(2)

第四百九十三号

貴国人ハガルト氏ヨリ我国人赤松熊吉外四名江係リ過日及出訴  
被告人共江相達置ハ処原告訴訟ニ對シ別紙之通返答申立ハ依テ  
書類差進ハ尚原告人ニ於テ異論モ有之ハト突合可及吟味ハ条  
其吉同氏江御申達有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月十八日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

明治七

第十二月十四日

種紙引当金催促之訴答書

大坂府管下

摂津国豊嶋郡

尊鉢村

被告人 石田四郎右エ門

251 Hagart 对赤松熊吉外四名種紙引当金催促一件(1)

第四百九十一号

貴国人ハガルト氏ヨリ我国人赤松熊吉外四名ニ係ル出訴事件ニ  
付第百六拾八号附ヲ以テ御掛合之趣致承知ハ右ハ被告人共訴状  
ニ對シ返答書為差出當今翻訳中ニ有之處既ニ官吏之目前ニ於テ  
被告人共及吟味原告人出頭不差許云々トハハガルト氏ニ於テ何  
等之確証ヲ以申立ハ哉未タ裁判相開キハ儀無之右翻訳相整ハ  
貴下江差進原告人答書ニ對シ異論有之上ハ双方突合可及吟味運  
ヒニ有之ハ条其吉同氏江御申達有之度此段及御答ハ拜具

明治七年十二月十五日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

差添人 谷口八兵衛

京都裁判所副長

人見権少判事殿

大阪府管下

摂津国豊嶋郡

尊鉢村

被告人 石田四郎右エ門

一此度英國ハガルトノ私相手取種紙引当貸金出入被訴上ハニ付  
訴狀御讀聞セニ相成左ニ返答奉申上ハ

一私義養蚕製造仕ハ處當六月上旬同州能勢郡垂水村生糸商上西  
治兵衛仲立ヲ以古江村井関喜内ノ英國ハガルト代神戸札場町今  
田喜一郎江蚕繭賣渡之約定仕ハ右之内私所持之蚕繭四十七斤加  
入仕尤荷物着次第代金可受取約定ニ而當六月廿四日神戸賣込問  
屋日向屋平七方へ持込御運上所へ罷出御改濟之上右仲立上西治  
兵衛手元江相渡申候其俣にて仕切相渡し吳不申此代金拾五円四  
匁ニ相成度々井関喜内迄勘定催促仕罷在ハ義ニ而ハガルトノ金  
子借り入ハ覺少茂無御座ハ何等之義ニ而私相手取ハ哉甚不得其  
意ハ問此段御調之程奉願上ハ以上

明治七

十二月十四日

右

石田四郎右衛門

兵庫縣官下川辺郡伊丹町

差添人 三浦孫四郎

兵庫御裁判所長

少判事土居通夫殿

明治七年十二月十四日

種紙引當金催促之訴答書

兵庫縣御管下摂津国

川辺郡伊丹町

壱番組

商

被告代言人 吉田慶有

兵庫縣御管下

摂津国川辺郡伊丹町壱番組

被告代言人 吉田慶有

一種紙引當金催促ノ訴答

右英國人ハガルトト申者ヨリ私江係ル種紙引當金催促ノ義被訴

上訴狀為御讀聞相成左ニ御答奉申上候

一私義元來養蚕製造罷在ハ如今般右ハガルトヨリ種紙引當トシ  
テ金子貸渡シ候趣被訴上候得共借用金之義者毛頭無御坐候

一私義本年六月ニ養蚕製造仕候処能勢郡垂水村生糸商法上西治兵衛中立ヲ以神戸ハガルト代札場町今田喜一郎江蚕繭凡千斤可賣渡定約仕候但シ百斤ニ付金三拾貳圓替ニテ都合六百四拾斤相渡シ置候此代金貳百四円八拾弍ニ相成候処内金五拾圓手形ニテ正ニ受取申候差引残金百五拾四円八拾弍不足ニ相成候ニ付度々催促仕候得共相渡只不申候折柄私シヲ相手取候義者無御座管ニ御座候

一蚕繭賣渡候義ニ相違無御座候ニ付賣買取為替書取置候右写左ニ申上候

覺

一蚕繭 凡千斤

代百斤ニ付立直段金三拾貳円替

右之通買附申候六月卅日限り荷物受取約定荷物着之上金百圓相渡シ申候以上

但シ本文之通立直段相定メ候得共当方ニ而賣立益金精算之上夫々割符可仕約定之支

明治七戌六月四日

ハゲツ商會

代 今田喜一郎印

上西治兵衛殿

井関喜内殿

一私ヨリ賣渡シ約定書寫左ニ申上候

記

一蚕繭 凡千斤

百斤ニ付代三拾貳圓替

右之通買附申候荷着之義者六月卅日迄之内指入可申内金百圓受取皆荷着之上皆金御渡シ可被下候以上

明治七戌六月四日

能勢郡

垂水村

上西治兵衛印

古江村

井関喜内印

ハゲツト

代 今田喜一郎殿

但シ本文之通立直段与シテ御渡シ置候得共御立賣之上益金精算夫々割符可仕約定之支

前書之通約定仕候ニ付運上所税金并ニ賣込問屋手数料等上西治兵衛ノ相渡置候段相違無御座候ニ付今般被訴上候引当金之義ハ

料

無御座候ニ付御取調之段奉願上候

明治七年十二月十四日

右

被告代言人 吉田慶有<sup>㊟</sup>

同所

名代人丹波長兵衛<sup>㊟</sup>

同所二番組

差添人三浦孫四郎<sup>㊟</sup>

前書之儀私シヨリ御答可申上管ニ御座候處病氣ニ付吉田慶有江  
代言相頼候然ル上者吉田慶有ヨリ申上候事柄并ニ御受申上候事  
柄共後日ニ至リ私シヨリ異義申上間敷候為後証奥印仕候已上

明治七年十二月十四日

大阪府御管下

摂津国豊嶋郡古江村

被告人 井関喜内<sup>㊟</sup>

兵庫裁判所長

少判夏土居通夫殿

明治七年十二月十四日

蚕紙 出入 訴之答

大阪府下西大組江之子寫

被告人 赤松熊吉

大阪府下西大組江之子寫

西町

赤松熊吉

一蚕紙出入訴之答

ハガルト商會ノ私江相掛リ蚕紙出入之儀被訴上候ニ付訴状御  
讀為聞相成候次第左ニ御答奉申上候

此段私義雜業之者御坐候処本年五月廿日頃能勢郡垂水村上  
西治兵衛井関喜内兩人私宅江罷越申聞候ニ者替爾凡千斤程  
在之ニ付商館江賣込周旋致具候趣依頼ニ付其砌リ商用ニ付  
神戸江罷越候ニ付ハガルト商會江右品賣込示談仕候見本  
無之候而者不相分ニ付荷主同道ニ而罷越具候吉申之依而私  
婦坂仕其由荷主江申聞候処五月廿六日頃前名与兩人并ニ石  
田四郎右衛門与申者三人召連ハガルト商會江引合置私義者  
婦坂致候ニ付此後者一切關係無之候此段御答奉申上候以上  
右之通相違不申上候

明治七年十二月十四日

兵庫裁判所長

少判事土居通夫殿

代書人 岸本利兵衛

兵庫多聞通六丁目

赤松熊吉

明治七年十二月十四日

蚕紙出入訴之答状

大坂府管下能勢郡

垂水村

農

被告人 上西治平

大阪府管下能勢郡

垂水村

被告人 上西治平

蚕紙出入訴之答

ハガルト商會が私江相係リ蚕紙出入之儀被訴上ハニ付訴状御讀  
為聞ニ相成ハ次第左ニ御答奉申上候

私義農業渡世之者ニ御座候処右透間ニ生糸商仕参リ去ル明  
治六年十一月中借財相嵩ハニ付本年一月ハ大阪府管下木部

村へ出稼致ハ折柄石田四郎右衛門荒木五平井関喜内右三人  
ハ本年製造蚕繭賣捌キ周旋致具ハ様彼是頼談ニ付既ニ神戸  
元町通り三丁目日向屋久衛弟平七へ引合仕ハ義ニ付右引当  
テ金一切相携不申此段御答申上候已上

明治七年十二月十四日

右

上西治平

兔原郡八幡村

農

差副人 林 直松

兵庫裁判所長

少判事土居通夫殿

明治七年十二月十四日

種紙引當金催促之訴答書

兵庫縣御管下摂津国

川辺郡伊丹町

被告代言人

石橋莊兵衛

兵庫縣御管下

摂津国川辺郡伊丹町

商

被告代言人 石橋莊兵衛

種紙引当金催促ノ訴答

右英国人ハカルトヨリ私江相係種紙引当之金催促ノ義被訴上訴  
狀為御讀聞ニ相成左ニ御答奉申上候

一私義今般英国人ハカルトヨリ被訴上候種紙ノ義ニ付取組候義  
者無御座候

一私義同郡古江村井関喜内同管下能勢郡垂水村上西治兵衛兩人  
ノ者江相係リ蚕繭八貫五百目此代金拾六圓九拾弍ニ賣渡シ則未  
タ代金受取不申候処今般英国人ハカルトヨリ右種紙引当金貸渡  
シ候趣被訴上候得共私シニ於テ借用不申候段御答奉申上候

一荒木五兵衛義大阪府御管下豊嶋郡池田村荒木五兵衛ト御呼出  
被為成下候得共私シ同郡木部村戸籍住人ニ御座候段御断奉申上  
候已上

明治七年十二月十四日

右 石橋莊兵衛

同郡東富松村

名代人浅井利兵衛

同郡伊丹町二番組

差添人

三浦孫四郎

前書之義私ヨリ御答可申上筈ニ御座候處病氣ニ付石橋莊兵衛へ  
代言相頼候然ル上者石橋莊兵衛ヨリ御答申上候事柄并ニ御受申  
上候事柄共後日ニ至リ私シヨリ異儀申上間敷候為後証與印仕候  
已上

明治七年十二月十四日

大阪府御管下

摂津国豊嶋郡

木部村

商

被告人 荒木五兵衛

兵庫裁判所長

少判吏土居通夫殿

253 Death 召使ガストル所持事件



第四百九十三号

貴国人エーテアス商會ニ於テ我国人松田喜助ナル者小銃尙挺借  
受所持致シ居ハ付取揚置右品引渡可申ハ条明後廿一日午前第  
十時請取人差出ハ様同氏江御達シ有之度此段申進ハ拜具

明治七年十二月十九日

兵庫裁判所々々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

254 Hagar 対天満屋齋介ビール売買一件(5)

第四百九十五号

本年十一月四日附第五百五十八号貴翰ヲ以貴国人ハカルト氏ヨリ  
我国人天満屋事大澤齊助江掛ル事件ニ付同氏申立書相添云々御  
申越之趣承知致シハ則齊助及糺問ハ處別紙口供之通り申立ハ条  
御廻ン申ハ尚同氏ニ於テ異論有之ハハ時日取極双方吟味可及  
ハ此段御報旁申進ハ拜具

明治七年十二月二十一日

兵庫裁判所々々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

大坂府下東大組第七區

内本町橋詰町

米津傳兵衛方同居

大澤齊助申口

四十二年二月

神戸在留英国人ハカルト氏商會ヨリビール買入ハ始末御吟味ニ  
付左ニ奉申上ハ

一 右ハカルト氏トハ明治三年十二月頃ハ懇意ニ相成同年正月十  
三日兼テ懇意致シハ大阪府下商人鏝屋権兵衛ト申者其頃私寄  
留致シ居ハ神戸松屋町借家江罷越ビール入用ノ由申聞ハニ付  
同人江周旋可致遣ト存シ即日ハカルト氏江品有無相尋ハ處同  
人方ニ右品有合賣渡度書申聞ハニ付五六十日延拂ニテ可買取  
吉頼談及ヒ詰リ代金十日延ニテ同月二十二日迄ニ可相拂約定  
致シビール三十樽此代金貳百八拾円ト取極即チ廿二日限右金  
高可相渡ノ旨證書ト引替ニビール三十樽受取ハ事  
一 右買取ハビール之内二十七樽八十日延拂ニテ代金貳百七拾円

ニ取極正月廿二日ニ受取ベク管ノ手形ト引替ニ権兵衛江相渡  
残り三樽ハ私伴大阪長堀四ツ橋阿波屋富二郎方江相廻シ小賣  
為致候事

一其後鏝屋権兵衛右品賣捌ハ處存外品物不互トテ荷物引取呉  
ハ哉亦ハ直段引下ケ呉ハ様申参リ得共一旦賣渡ハ品ニ有之  
上ハ其儀承諾不致候事

一鏝屋権兵衛江限日ニ付正月廿二日ビール代金受取ニ罷越ハ處  
未タ不殘賣捌不申由ニテ金子相渡シ呉不申去トテ「ハカルト  
氏江限日ニ至リ代金相渡不申ハ申譯無之ニ付敵數催促致  
シハ處権兵衛ヨリ持合ハフランケツト八斤物三百組買取右ビ  
ール代金差引致シ呉ハ様申聞任其意ニ代金九百円ニ買取候約  
定致候事

一ハカルト氏江可相渡ビール代手形金限日相過ハニ付同人ヨリ  
催促有之ハ得共前条之仕合ニテ差掛リ金調難相成不得止神戸  
松屋町若葉屋徳五郎宅ニテ西洋小間物代金延拂ノ糶市有之ハ  
ニ付右方ニテ長香并鏡代金五拾円ニテ買求メ直ニ同町相屋由  
太郎方江代金五拾円ニテ右品賣渡此五拾円ヲ洋銀ニ引替同年  
正月廿四日五拾弗内金トシテハカルト氏江相渡候事

一可買取約定致シ置ハフランケツト受取ニ同年正月晦日鏝屋権  
兵衛方江罷越則フラケツト三百組受取ハ得共未タ代金拂済ニ

無之ハニ付同人手代同道大阪備後町油屋彦三郎方江質入致シ  
金七百円受取右ノ内ビール代金貳百七拾円ヲ差引フランケツ  
ト代金六百三拾円右手代江直ニ相渡シ殘金七拾円ノ内五拾円  
ハ長香鏡代金ニ同年二月二日若葉屋徳五郎江相渡尚殘ル金貳  
拾円ハ私手元江差置ハカルト氏江拂殘リ金貳百三拾円ハ右フ  
ランケツト賣拂質入金相済シ殘リ代金ヲ以同氏江相拂可申存  
意ニテ萬一右品直段下落致シ見込之通り不相連節ハ大坂長堀  
四ツ橋ニ有之阿波屋富三郎借家ニ附ケ有之所有ノ造作并ニ家  
財等賣拂ハ右ビール代金ハ何時ニテモ調達可相成ト存ハ  
ニ付ハカルト氏江損耗相掛ケハ儀ハ無之心積リニテ兼テ熟慮  
罷在候事

一右五拾弗内金差入同年二月八日殘金貳百三拾円ハ同月廿七日  
ニ利足金貳拾円相添へ返済可致キヲ以神戸札場町尾州屋藤吉  
受入大坂江ノ子島村島屋萬助ハ證人ニ相立更ニ新證文差入前  
差入置候手形ハ取戻シ候事

一右證文差入日延中油屋彦三郎方江質入レ致シ置ハフランケツ  
ト賣拂ハ手数致シハ得共其頃右品不景氣ニテ需ムル人鮮ク偶  
買人有之ハトモ免角直合之相談不相調終ニ亦候ビール代返弁  
出来不申不得止違約之次第相詫金拾円二月晦日相渡尚亦三月  
五日夜金拾円利足ニ相渡同月十二日迨日延相頼ハ處承知致シ

吳折柄フランケット直段日増ニ下落致シ多分損失ニ相成難賣拂ハニ付外方ニテ金調致シ右フランケットニ不拘拂入可仕心組ニテ神戸商人近江屋善兵衛并ニ中島屋久兵衛等江金子借り入レ之儀相頼ハ得共承諾致シ吳不申終ニ三月十二日モ相過キハカルト氏江尚々申譯無之次第ニ相成尚亦三月十五日金拾円利足相渡何分金調出来不申旨ヲ以當時相待呉ハ様頼リニ相頼置ハ事

一受人尾州屋藤吉證人村島屋萬助江モ精々金子調達相頼ハ得共同人共モ意外ノ損毛有之大ニ困窮ニ迫リ終ニ藤吉ハ同年四月日失念家出致シ今以行衛相知レ不申万助ハ當時弥増貧窮ニテ日々之活斗モ不相立程ニ有之ハ事

一其後如何様ナリモ致シ返弁不致ハ而ハ相済不申ハ得共蘭人シキート氏江係リハ争訟兵庫縣外務局ニテ兼テ御取調之処追々敵敷相成自體不自由ニテハ金子調達ニ差支エハ事

一前頭質入致シ置ハフランケット質取主油屋彦三郎ハ受取方頼リニ催促ヲ受ケ是亦申譯無之ハニ付先方ニテ賣捌呉ハ様相任セ置ハ処追々直段下落致シ其上汐濡損シ等有之漸代金七百九拾円ニ賣拂此内質金七百円外ニ六拾八円利分彦三郎江相渡差引残金貳拾貳円受取ハ得共斯損失相立ハニ付此金子ニテハ「ハカルト氏江ビール代金返済難出来次第ニ相成ハ事

一右麻フランケット」ニテ損失相立ハニ付最早他ニ右ビール代金調達ノ道無之私伴富二郎所持ノ家附物并家財賣拂ハカルト氏江返金可致ト存其手数ニ取懸リ可申之処其頃大阪新町通ニ丁目石上儀助ハ去ル慶応三卯年十二月中金五百円借り受ケ一ヶ月三円宛返済可致ヲ十ヶ月分滞ハル一時皆済致ハ様同人ヨリ敵敷催促有之終ニ大阪府江及出訴被相手取返済方暫時モ差延シ難ク不得止家附物并家財賣拂右滞之方江返金ニ用ヒハ右之仕合ニテ「ハカルト」氏江ビール代金返済終ニ即今ニ至ル迄不埒明ニ相成ハ次第ニ御座ハ

右手續ノ通り相違無之全ク詐欺ヲ以ビール買取最初ヨリ代金不相拂トノ心底ニハ決テ無之既ニ内金五拾弗尚為利足三拾円相渡受人證人ヲモ相立ハ證書差入罷在ハ然レモ前頭記載仕ハ通り何レモ不幸ニシテ難渋引継終ニ皆済不出次第ニ立到リハ得共詐欺之所為等ハ聊寛無御座ハ右之通相違不申上ハ以上

明治七年十二月十一日

大澤齊助爪印

255 イリー所有ノ首巻返還ノ件

寫  
第四百九十号

貴国人イリー氏所持之首卷我国人足立寅吉ナル者拾ヒ取り私用致シ居ル科ニヨリ去ル七日別紙之通及處分ル条就テハ右品相渡可申ル間明后廿三日午前第十時請取人差出ル様同氏江御達シ有之度此段申進ル拜具

明治七年十二月廿一日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

寫

丹波国氷上郡

佐治村農

足立寅吉

其方儀神戸旧生田川堤ニ於テ首卷卷ツ拾ヒ取り其筋江届モ不致窃ニ所持スル賍金八錢之科得遺失物律ニ依リ屹度叱リ置

明治七年十二月七日

256 Byrne 獵銃誤射事件(4)

第四百九十九号

去ル十九日第百六十九号附之貴翰ヲ以貴国人エドワルド、ビールン氏誤テ我國人柴田茂兵衛江傷ツケル事件ニ付傷所治療ノ費用償金並ニ別段之謝金ビールン氏ヨリ差出ル趣ヲ以右金拾壹円六錢御差送相成正ニ落手致ル就テハ茂兵衛江下ケ渡受取証為差出御廻シ可申ル得共不取敢此段及御答ル拜具

明治七年十二月二十二日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

追テ右事件ニ付テハ貴下ノ御取扱ヲ以程能ク相纏リル段喜悦致ル

257 炭詐取事件ニ付 Browne 召使召喚ノ件

第五百二号

本年八月頃我国人福井勇吉ナル者中鶴儀太郎所持之炭ヲ欺キ取  
リハ事件ニ付取糺候處右欺キ取り候炭之中貳百五拾俵ハ加藤重  
次郎之問屋名前ヲ以當港居留地寄留貴国二拾六番ブローン商會  
召仕清国人アカン并ウンセイ兩人エ代金六拾円ニ賣拂ハ旨申立  
右ニ付委細聞糺度ハ条本月廿六日午前第十時右兩人ヲ當裁判所  
江差出ハ様ブローン氏江御申達有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月廿三日

兵庫裁判所々長少判事土居通夫

不在ニ付代

副所長権少判事上山惟清(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

258 Higati 对赤松熊吉外四名種紙引当金催促一件(3)

第五百六号

貴国人ハガルト氏ヨリ我国人赤松熊吉外四名江係ル事件ニ付本  
月二十三日第百七十号付ヲ以テ御掛合之趣致承知ハ早速被告人  
共病氣之容體取調中之處明後二十八日限ニテ當裁判所年末休暇  
ニ相成付テハ来明治八年開廳ノ上日限取究メ可及御通知ハ条其

吉同氏江御申達有之度此段申進ハ拜具

明治七年十二月二十六日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

259 Byrne 獵銃誤射事件(5)

第五百十号

去ル二十二日第四百九十九号附書翰ヲ以不取敢御報致シ置ハ貴  
國人エドワルドヒールン氏ヨリ我国人柴田茂兵衛江給與致ハ償  
金並ニ謝金共京都裁判所ヲ経テ右茂兵衛江相渡ハ處即今別紙之  
通請取差出ハニ付則御廻シ申ハ間御落掌有之度右ニテ此事件落  
着ニ相成申ハ拜具

明治七年十二月廿七日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

料

資

明治七年十二月廿五日

御請証

綴喜郡第老區八幡ノ庄

柴田茂兵衛

御請証

綴喜郡第老區八幡ノ庄

柴田茂兵衛

私儀去ル十一月二日橋本駅舟渡シ場ニテ外國人炮發ヒ致借玉私ヘ相当リ候ニ付先般右始末御取調相成ハ處今般右外國人ヨリ右業代且職業相休候手間代トシテ金六圓六錢償ヒ被下其上進物トシテ金五圓差贈ラレ候吉ニテ都合金拾壹圓六錢御下ケ渡相成誠ニ御手厚次第ニ付辭シ可申答ニ候得共御厚意ニ泥ミ請納仕ハ間御先方ヘ宜御達ヒ成下度此段謝入旁御請書奉差上候以上

明治七年十二月廿五日

右

柴田茂兵衛

差添 谷口八兵衛

京都裁判所副長

人見権少判事殿

260 榎並利兵衛対 Lucas & Waters 于貝取引一件(10)

第五百十一号

兼テ及御掛合置ハ貴国人ルツカース、ウオトル氏江係リ我国人榎並利兵衛ヨリ及出訴ハ詞訟一条過日中御吟味相成ハ處其後何タル御沙汰無之趣ヲ以別紙之通利兵衛ヨリ書面差出ハニ付則御廻シ申候間可然御取扱有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月廿七日

兵庫裁判所々長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

兵庫英國皇帝陛下ノ裁判所ニ於テ

原告人榎並利兵衛

一千貝並合質入訳立ノ事件

被告人ヘンリー、ルツカース

デヨン、ウオトルス

右事件本年十月廿六日同廿七日兩日御吟味被成下ハ何タル御沙汰も無之時日相延ハ而者難渋仕ハ間此段本月三日速ニ御裁判被成下ハ様奉願候然ルニ其後何タル御沙汰も無之何卒至急ニ可成火速ニ御裁判被成下ハ様奉願候以上  
於兵庫千八百七十四年十二月十九日

原告人

榎並利兵衛

在兵庫英國皇帝陛下ノ權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

261 裁判所ノ年末年始ノ休庁ニ就テノ案内

寫

第五百十二号

以廻章致啓達ハ然ハ年末ニ付本月廿九日ヨリ休廳ハ条尚来ルハ年一月七日ヨリ開廳事務取扱ハ此吉御承知有之度ハ拜具

明治七年十二月廿七日

兵庫裁判所々々長

少判事 土居通夫(花押)

各国領事貴下

262 Robertson 暴行事件

第五百十五号

貴國人ロベルトソン氏江係リ我國人石川一ヨリ別紙之通數願申立ハ依テ書面差進ハ条可然御裁断有之度此段及御掛合ハ拜具

明治七年十二月廿八日

兵庫裁判所々々長

少判事 土居通夫(花押)

英國權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫猊利太尼亞皇帝陛下之裁判所ニ於テ

小倉縣貫屬士族中津森之町

石川新十郎養父

当時兵庫西出町奇留

原告 石川 一

鐵道寮御雇

英國人

被告 セー、ロベルトソン

兵庫大坂猊利太尼亞皇帝陛下之權領事

エ、エ、アン子スリー貴下

右原告石川一之歎願左ニ奉申上候

一被告ゼー、ロベルトソン義本年十二月廿三日鉄道寮内棧橋ニ於靴ニ而私ヲ蹴リ候段如何ニモ不当之義ニ付御取糺之上相應御所分被成下度候

一右蹴ラレ候節西口留吉多田金次郎見届居慥ナル証人ニ御坐候右訴訟之被告人ゼー、ロベルトソン鉄道寮御雇ニ御座候也

明治七年十二月二十八日

石川 一 ㊦

263 鉄道寮御雇外人 Taylor 暴行事件

第五百十六号

貴國人ミステテラ氏へ係リ我国人大島勇藏外二名ヨリ別紙之通歎願申立依テ書面差進ル条可然御裁断有之度此段及御掛合候拜具

明治七年十二月廿八日

兵庫裁判所長

少判事 土居通夫(花押)

英国権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

在兵庫貌利太尼亞皇帝陛下ノ裁判所ニ於テ

鉄道寮御雇之英国人

ミステマテン方

雇人

原告 大島勇吉

〃 高岡ます

兵庫相生町三丁目

加藤新五郎

鉄道寮御雇英国人

被告 ミステテラ

兵庫大阪貌利太尼亞皇帝陛下之権領事

エ、エ、アン子スリー貴下

右者大島勇吉高岡ます加藤新五郎之歎願左ニ奉申上候

一被告人ミステテラ義昨廿七日午後四時頃鶏之行衛相分リ不申ニ付ミステテラ門先相尋居ル処右テラ越出無法ニ私共ヲステーキニ而タミキ候ニ付何故ト相尋ル得共言語相分リ不申候間其場者退帰リ候得共余リ残念ニ御座ル依而ミステテラ御呼出之上御吟味被成下度ル様奉願上候



右タムカレ候節証據人者私共主人マテンニ御座候

明治七年十二月廿八日

右

大嵐勇吉<sup>㊤</sup>

高岡きす<sup>㊤</sup>

加藤新五郎<sup>㊤</sup>

神戸下山手通七丁目

付添人 宮本記平太<sup>㊤</sup>

英文標題

211. R. No. 71. (424)

October 23, 1874. Judicial.

Hughes's iron stolen. Thief sentenced.

215. R. No. 225. (425)

October 24, 1874. Judicial.

Kirby's coke stolen. To attend on 26<sup>th</sup>.

216. R. No. 226. (426)

October 24, 1874. Judicial.

Difficulty about boats. Kirby & Co.

217. R. No. 227. (428)

October 27, 1874.

Herausen vs. Yasubei. Must refer prior case to Judge.

Dep.

218. R. No. 228. (431)

October 28, 1874. Judicial.

Howles vs. Kō-un-maru. Hearing postponed.

219. R. No. 229. (433)

October 29, 1874. Judicial.

- Yanagi Kichibei vs. Browne. Forw<sup>d</sup>es. Plaint. 3 Incl :
200. R. No. 230. (435)  
October 30, 1874. Judicial.
- Strome vs. Yasuke. To return cart to Genshichi. 1 Incl.
201. R. No. 231. (436)  
November 9, 1874. Judicial.
- Hagart vs. Wakayeya & Zakoya-Statements. 3. Incl
202. R. No. 232. (443)  
November 10, 1874. Judicial.
- Howles vs. "Kō-un-maru". Hearing on 11<sup>th</sup>.
203. R. No. 233. (444)  
November 10, 1874. Judicial.
- Herhausen vs. Denkichi. Reply. 1 Incl.
204. R. No. 234. (446)  
November 11, 1874. Judicial
- Byrne. Man wounded by, at Yawata. 7 Incl.
205. R. No. 235. (445)  
November 11, 1874. Judicial.
- Herhausen vs. Yasubei. Postponement of bankruptcy.
- 
206. R. No. 236. (449)  
November 13, 1874. Judicial
- Gencheong vs. Cruchley. Pressing for hear. 1 Incl.
207. R. No. 237. (455)  
November 19, 1874. Judicial.
- Strome vs. Yasuke. To return Genshichi's car.
208. R. No. 238. (463)  
November 25, 1874. Judicial.
- Byrne. Jap<sup>e</sup>, shot by. 2 Incl.
209. R. No. 239. (463)  
November 25, 1874. Judicial.
- Shiwotani Heibei (Heijirō) vs. Lucas & Waters.  
Complaint with drawn. 1 Incl.
240. R. No. 240. (465)  
November 27, 1874. Judicial
- Yanagi Kichibei vs. Browne. For Hearing. 1 Incl.
241. R. No. 241. (466)  
November 27, 1874. Judicial.
- Howles vs. Kō-un-maru. Hearing on 30<sup>th</sup>.
242. R. No. 242. (468)

- November 28. 1874. Judicial.  
Gencheong vs. Cruchley. Application for Hearing. 1  
Incl.  
243. R. No. 243. (470)  
November 30. 1874. Judicial.  
Cabeldu. Hats to be returned to.  
244. R. No. 244. (471)  
December 1. 1874. Judicial.  
Herhausen vs. Naruoya.  
245. R. No. 245. (478)  
December 8. 1874. Judicial.  
Rihel vs. Lucas & Waters. For Hearing. 1 Incl.  
246. R. No. 246. (476)  
December 8. 1874. Judicial.  
Gan cheong gō vs. Cruchley. Plff's attorney. 1 Incl.  
247. R. No. 247. (480)  
December 8. 1874. Judicial.  
Yanagi Kichibei vs. Browne. Motion for Hearing. 1  
Incl.  
248. R. No. 248. (482)
- 
- December 10. 1874. Judicial.  
Skey vs. Police. Sentences. 1 Incl.  
249. R. No. 249. (488)  
December 14. 1874. Judicial.  
Howles vs. Kō-un-maru. proposed settlement.  
250. R. No. 250. (489)  
December 15. 1874. Judicial.  
Byrne. Compensation to Shibata Mohei. 1 Incl.  
251. R. No. 251. (491)  
December 15. 1874. Judicial.  
Hagart vs. Akamatsu Kumakichi & others.  
252. R. No. 252. (493)  
December 18. 1874. Judicial.  
Hagart vs. Kumakichi & others. Rep. 5 Incl.  
253. R. No. 253. (493)  
December 19. 1874. Judicial.  
Death's servant Kisuke. Pistol will be returned.  
254. R. No. 254. (495)  
December 21. 1874. Judicial.  
Hagart vs. Temmaya. Dfd't's reply. 1 Incl.

255. Copy. R. No. 255. (494)

December 21, 1874, Judicial.

Iri (?) Comforter lost by. 1 Incl.

256. R. No. 256. (499)

December 22, 1874, Judicial.

Byrnes compensation to Mohei received.

257. R. No. 257. (502)

December 23, 1874, Judicial.

Browne's Chinamen summoned as witnesses.

258. R. No. 258. (506)

December 26, 1874, Judicial.

Hagart vs. Akamatsu & others will fix hearing.

259. R. No. 259. (510)

December 27, 1874, Judicial.

Byrne's compensation to Mohei received. 1 Incl.

260. R. No. 260. (511)

December 27, 1874, Judicial.

Yenami Rihei vs. Lucas & Waters. For Hearing. 1

Incl.

261. Copy. Circular.

R. No. 261. (512)

December 27, 1874, Judicial.

Holidays from 29<sup>th</sup> to 6<sup>th</sup> January inclusive.

262. R. No. 262. (515)

December 28, 1874, Judicial.

Ishikawa vs. Robertson. Assault. 1 Incl.

263. R. No. 263. (516)

December 28, 1874, Judicial.

Ōshima Yuzō vs. Tayler. For hearing. 1 Incl.